

# 令和2年度豊川市子ども会連絡協議会 活動方針および重点目標（案）

## □活動方針

インターネットや携帯電話などのコミュニケーションツールが普及し、私達の暮らしの中に急速に浸透してきており、人と人とのコミュニケーションが時間や場所を選ばなくても容易にできるようになりました。また、たくさんの情報を家庭にいながらにして得ることができます。

こうしたことを背景に、本格的な少子・高齢社会が進展するなかで、多くの子どもは物質的に豊かになっている反面、年齢・学校・地域を越えた子ども同士の交流や自然とふれあう機会が少なくなってきたり、社会性や自立心、さらには連帯感の低下を招いています。

子ども会は、社会の変化とともにその姿を変え、子ども会が求められる役割も共に移り変わってきました。前述のような時代背景の今こそ、子ども会活動の趣旨（子どもが地域に集い、考え、遊び、学ぶ活動）が、子どもにとって必要不可欠なものとなってきています。

子どもの健やかな成長を願い、子ども会の育成・指導にあたる私達は、子ども会の原点に戻って、『子どもの手による子どものための子ども会』を合言葉に、子どもたちの希望に耳を傾け、その実現に向けて努力していかねばなりません。

地域で子どもを育てるといふ社会的な課題は、子ども会だけで解決すればよいものということではありません。地域が、あるいは各種団体が一緒に手を携えて、豊かな社会の担い手としての子どもたちと今後どのように関わっていくかが重要な問題となっております。その大変な、しかしやりがいのある子ども会活動をみんなで一緒に考えていきましょう。

## □重点目標

- (1) 子どもリーダーを育成することを目的に、リーダーとしての知識や技術を学ぶことのできる場を設け、子ども同士の交流の中で、子どもたちが自ら学習できる環境を作る。
- (2) 子どもたちが自ら企画し、運営する行事等を増やし、指導者及び育成者がサポートする。この場合において、子どもたちの要望を聞き、これまでの活動内容の見直し・精選を徹底して行う。
- (3) 中学校区子ども会や単位子ども会、さらには他団体や地域と連携をし、互いに交流する中で情報を交換し、また地域で子どもを育てるといふ同じ目的に携わる者として、その自覚と経験を踏まえながら、より優れた事例を自らの活動に活かすよう努める。